

★紫根染とムラサキ草プロジェクト

ムラサキ草は、校歌にもうたわれ、校章のモチーフともなっています。また、紫根染の原料となります。例年であれば、安代の平館高校元PTA会長小船清悦様（普22回生）が種を播き、苗まで育てて頂き、それを生徒が学校の裏山に1年生の時に植え、3年育てたムラサキ草の根で絹布を染め、その染めた絹布で、コサージュを作り、卒業式に卒業生の胸を飾るという、3年越しのプロジェクトです。今年も、自分達で、種から苗を育ててみることにチャレンジしました。9月28日には同窓会・PTAに生徒も協力し、総勢36名でムラサキの種を播きました。来年の春芽が出ることを心待ちにしたいと思います。これからは早めに計画をしていきたいと反省しております。よろしくお願ひ致します。

(家庭クラブ顧問)



固い土…。山村副会長の管理機が登場。



モグラ・ネズミの防除対策、板を設置。



人力で耕起。



全員協力して作業終了！
無事に芽が出ますように！



ムラサキの種を2粒づつ、播きます。



ムラサキ畑ならし。



記念樹、こんなに大きくなりました。

★姉妹校締結記念樹の剪定作業を実施しました

平成3年7月にカナダエスクワモルト高校との姉妹校締結の記念に植えた記念樹「サトウカエデ」(カナダの国旗にデザインされている。)と看板が焼走りキャンプ場にあります。

令和4年9月28日(水)、同窓会で周りに茂った草木の剪定を行い、スッキリしました。記念樹は空高く、成長しています。

★平館高等学校同窓会新年会中止のお知らせ

平館高等学校同窓会令和5年新年会は新型コロナウイルス感染拡大が心配されるので中止とすることといたしました。平高ホームページの同窓会コーナーにも掲載していますのでご覧ください。

事務局からのお願い

◆同窓生・ご家族様へ住所変更などの連絡についてお願い

同窓会会員名簿は、学校創立70周年記念平成29年度版など記念の年に発行しています。発行する名簿には会員の希望により住所掲載はしないなど、個人情報保護の観点からしっかり管理されています。この名簿により会報などを発送した時に受取人不明により戻ってくる場合があります。住所変更等ありましたらご一報ください。

岩手県立平館高等学校同窓会報

紫しくん薫 2022

☆同窓会事務局☆

〒028-7405 岩手県八幡平市平館25-6 岩手県立平館高等学校内
TEL 0195-74-2610 FAX 0195-74-2290
直通電話番号 090-5830-2588
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/index.html>



少子化時代、母校を応援しよう

同窓会長 高橋時夫
(普通科17回生)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、同窓会活動並びに母校の発展のために格別なるご理解とご支援を賜り心から感謝を申し上げます。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響で予断を許さない状況下ですが経済、社会活動は少しずつ通常の生活を取り戻してきました。

同窓会総会は、7月16日(土)に3年ぶりに対面での開催となり44名の会員の出席のもと開催しました。しかし会員交流の場であり楽しい懇親会は今回も自粛することとしました。母校は、創立70周年から4年が経過しました。学校では、生徒諸君が先生方の熱意ある指導の下、日々新たな伝統を紡いでいます。また、地域住民との連携による学校づくりのため県のコミュニティスクール指定を受け関係機関、団体が一体となって母校の振興活動が展開されています。岩手県教育委員会では、昨年、令和7年度目標の県立高校再編後期計画を策定しました。本校は現在、普通科1学級、家政科学科1学級の2学級体制です。現状は、家政科学科の定員割れ充足が課題となっています。

学校では「広報はちまんたい」や学校紹介パンフレットの配布、市内及び周辺部中学校訪問、小中学校との生徒同士の交流などを通じて平館高校の特色を伝え生徒確保に取り組んでいます。八幡平市も母校での人材養成の重要性に鑑み、第2次八幡平市総合計画に生徒確保の目標値を設定し喫緊の施策課題としています。

同窓会においても母校への支援と同窓会員の絆を深めるためコロナ禍に流されない同窓会活動の推進に努めていきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会費納入のお願い
同窓生の皆様へお願いです。同窓会費の納入時期が参りました。同封の払込票によりお振込みをよろしくお願い致します。
我が母校、平館高等学校普通科は令和4年度の入学志願倍率で20数年ぶりに1倍を超えました。生徒達も先生方も大変頑張っております。私達の同窓会費は同窓会活動に支えるばかりでなく、在校生による多種多様な活動にも支援しております。今後も母校の魅力度アップのため、在校生の諸活動の環境整備のため、同窓生の皆様からの会費納入を是非お願いいたします。
令和4年12月吉日
平館高等学校同窓会長 高橋時夫
同窓生各位



故郷(ふるさと)八幡平市の魅力発信

校長 北島 亨

平館高校の生徒教職員への熱いエール並びに物心両面から本校の教育活動に対する温かい御支援と御尽力を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、少子化の影響はご存じのとおり県立高校の再編計画(統廃合)に直結します。学級減、募集停止、定員割れという活字が新聞等で取り上げられていますが、今年度本校は普通科が定員40名の入学生を確保し、創立74年目のスタート切ることが出来ました。生徒たちの頑張り地域からの期待、そして何より同窓生皆様方の母校愛の下支えがあってこそその結果だと思えます。同窓会長様のリーダーシップのもと、理事、会員の皆様の母校発展のための様々な取り組みは、本校の魅力化推進の土台となっています。

八幡平市行政への働きかけや市長とのフリートークの開催、本校学校運営協議会でも中心的な役割を果たして頂くなど、生徒教職員にとってかけがえのない存在です。

また、今年度から本校の象徴である【ムラサキ】について、総合的な探究の時間や家庭クラブにおける研究のテーマに設定するなど、学校全体で例年以上に、その歴史や育成・栽培・継承・歴史的価値についても学びを深めたいと考え、【種まき】から挑戦するプロジェクトでも同窓生の皆様のアドバイスで実現することが出来ました。オリンピック金メダルで世界各国にその名を轟かせた【八幡平市】。安比に新設されたハロウスクールの皆さんには、相撲やスキーのデモンストレーションや八幡平市の歴史文化の英語でのプレゼンテーションを考えています。また、生徒たちが取り組んだ八幡平市の探究【ハチタン】の成果を八幡平市議会に提案する予定です。

校訓である開拓者精神のもと、生徒たちの豊かで柔軟な、そして主体的な発想を大切にしました【平高ならではの】・【平高でしかないこと】を、ふるさと八幡平市の魅力として発信する平館高校であり続けたいと思います。同窓生皆様とともに地域の期待に応え、魅力あふれる高等学校にしていきたいと思えます。



★令和5年度予算編成にあたって八幡平市長に平館高校振興のための要望を行いました。

- 11月14日（月）、八幡平市役所で高橋時夫同窓会長はじめ各支部長等が佐々木孝弘八幡平市長との面談の機会を頂き八幡平市の令和5年度予算編成にあたって平館高等学校振興にかかる10項目の要望を行いました。
- 1 高校皆進学時代の中、生徒の学力向上、進路指導の多様性への対応強化(キャリア教育事業、職場体験、オープンキャンパス等)のため 校内サポート体制の充実強化のための支援をお願いします。
 - 2 制服購入助成額の引き上げにより保護者の負担軽減に支援をお願いします。
 - 3 食育による栄養管理の支援と保護者負担軽減のため平館高校で給食提供の早期実現に向けて意向調査、実施方法について検討をお願いします。
 - 4 大学等進学希望者の学力向上等指導者（講師等）の配置のための助成をお願いします。
 - 5 コミュニティスクール活動に対する助成をお願いします。
 - 6 通学定期助成制度の継続実施をお願いします。
 - 7 市のブランド戦略として文化・スポーツによる地域おこし活動を通じて平館高等学校の魅力づくりのため地域おこしアドバイザーの設置の検討をお願いします。
 - 8 県外、県内からの入学者希望者の受入れ態勢確保のための宿泊等生活支援施策の制度創設をお願いします。
 - 9 ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンの開校等国際化が進む中、国際感覚の涵養、人材育成のため平高生の国内、国際交流・海外派遣事業に参加する生徒への旅費助成をお願いします。
 - 10 岩手県立平館高校振興を通じた市のブランド戦略施策の推進のため市長部局に高校振興担当係の設置をお願いします。



★佐々木孝弘八幡平市長を囲んでのフリートーク開催

9月16日（金）八幡平市西根地区市民センターで、佐々木孝弘市長と「岩手県立平館高等学校振興について」をテーマにフリートークを開催しました。フリートークには佐々木市長、星俊也教育長、学校からは北島亭校長を始め先生方、畠山幸清PTA会長、同窓会員の32名が出席。

冒頭、佐々木市長から「平館高校の存続、振興について市議会、PTAでも大切なテーマとなっています。3月の平高生の進路状況は就職者24名中、市内企業に14名就職。これを見て地元高校です。相撲部、野球部、家政科科学の活躍も立派。安比塗漆器工房の見学など地元の高校ならではの取り組みを行っています。家政科科学は40人定員ですが13名在籍、27名の欠員で2学級を確保するために引き続き生徒確保が課題となっています。出生数が減少し令和2年は100人を下回り危機感を持っており子育て支援策として出産で50万円の給付を行っています。結婚世代が増えた等成果が出ています。海外派遣ではタイの高校生と平館高校との交流を検討してきました。制服購入補助は補助費のアップを要望しています。ハロウスクールが8月28日に開校し世界各国の生徒が入学しています。平館高校の生徒との交流も含め連携協定を締結しています。国際感覚を身につけることは平高の魅力もアップに繋がると期待しています。」と挨拶。



佐々木孝弘八幡平市長

佐々木市長からのコメント

- ・給食センターの給食数の減少のなか、平館高校も含めた給食の提供について保護者の意見を聞いていきたい。
- ・市では、一般のふるさと納税と企業版ふるさと納税をお願いしている。東京、関東等同窓生の皆さんにも働きかけをお願いしたい。
- ・スクールバスを平館高校生も利用することができないか考える余地がある。
- ・オリンピックで小林陵侷選手が金メダル・銀メダルを、永井秀和選手が銅メダルと、八幡平市出身の選手が活躍した。スーパースターが出たこの街で一番になる生徒の確保ができればと思っています。

星教育長からのコメント

- ・国際交流について、ハロウスクールでは小学校6年生から中学校、高校生が在学。国際理解のため文化交流、民俗芸能、スポーツ交流、スキー大会をハロウスクールと一緒に開催するとか交流につながるっていければいい。ハロウ校はオールイングリッシュでの勉強です。平館高校も英語力の向上に繋がっていければいい。
- ・給食はご飯持参給食か、完全給食か市民・保護者のアンケート等も含め平館高校への給食の提供も検討の余地があります。
- ・小中学生が、平館高校をどう見ているか入学生確保に関わりがあります。田頭小学校では夏休み、冬休み、平館高校の生徒から勉強を個人的に教えてもらっています。寺田小学校は紫根染めを教えて頂き、綺麗に出来たと喜んでいきます。

北島校長からのコメント

- ・八幡平市の魅力発信のためハロウスクールにムラサキに特化した伝統的な紫根染等環境教育を英語で紹介。平館高校の魅力、相撲、八幡平市の魅力・文化を伝えたい。交流を通じて平高生の対話力、発信力、平館高校ならではの魅力発信のため資質を伸ばしていきたい。
- ・ゴルフ部、スキージャンプは、今あるスキー部、相撲部、プラスアルファで考えていかなければならない。少人数ですが地域と連携したスポーツ活動を広げていきたい。

フリートークの結びとして佐々木市長から

「皆さんの意見を平館高等学校の振興、生徒確保を含めて知恵を絞っていききたい。少子化の中、平館高校の活性化、存続の状況が年々厳しくなっています。今まで行ってきたことを、根本的に見直す場面もあります。家政科科学も名称から認知していただけるような名称。生徒も市外、市内から求めるとか。相撲では盛岡から来て大活躍しています。スキーでも可能です。野球も去年は一回戦を突破するなど頑張っている子供達もいます。市外からも呼び込むため、頑張っている人をどんどんアピールして行くべきと感じました。こういう機会を頻繁に開催して頂いて平館高校の振興のために我々も精一杯頑張っていきたいと思っています。」

(紙面の都合上、発言内容について要約、短縮していますのでご了承ください。)

- 高校ならではの魅力発信、他の学校と差別化が必要等の活発な意見、提言が出されました。**
- ①制服代購入補助の全額支援の検討をお願いしたい。
 - ②進学対応のための公営塾の開設、民間塾受講への助成制度要望。
 - ③栄養士が考えたメニューで高校生の成長期を支える給食提供システムを作ってほしい。
 - ④スキー、相撲等の入学希望選手招致のため宿泊施設と市が提携して下宿システムを作り、一体となって市外、県外から生徒の確保対策を検討してほしい。
 - ⑤同窓会費の納入をお願いします。市職員同窓生へ呼びかけをお願いします。
 - ⑥市内の高校生、中学生も含め夢と希望を伝えるために、ブルーインパルスの整備等で活躍している平館高校OBの講演招致を検討して頂きたい。
 - ⑦ハロウ校が来たのはスキー、ゴルフ、サッカーができる環境。
 - ⑧市内にはゴルフ場がありゴルフ部を作って魅力化すれば生徒が集まるのではないかと。
 - ⑨北海道で廃校寸前の村立高等学校が一芸に秀でた美術工芸高等学校を作ると道内で勧誘。村民と高校生の交流等一緒になって活動。クロスカントリースキーが有名になり札幌、道外からも生徒が集まり廃校寸前の学校が三桁まで生徒が増え奇跡の学校と言われた。村の高校を、いかに存続していくか、村人たちが一緒に真剣に取り組んだ例です。
 - ⑩給食センターを建てる際は、保育園から高校まで完全給食で、地産地消の給食センターを建てて欲しい。子供のためには、一番は食だと思います。
 - ⑪平館駅から平館高校まで通学ジャンボタクシーを運行してほしい。
 - ⑫スキーとゴルフなど、スポーツに特色があると魅力を感じて全国から来てくれると思う。
 - ⑬ムラサキの花は天皇に献上した日本古来の花。平館高校はムラサキを増やし紫根染に取り組んでいる。紫根染をハロウスクールとの交流の時に使えないかな等。

ふるさと納税で私たちのふるさと八幡平市を応援しよう。詳しくは八幡平市ホームページ <https://www.city.hachimantai.lg.jp/> をご覧ください。

★令和4年度平館高等学校同窓会総会報告



令和4年度平館高等学校同窓会総会は、3年ぶりに、7月16日（土）午後3時から、八幡平市西根地区市民センターを会場に、44名の参加を頂き、新型コロナウイルス感染症予防対策をして開催されました。

総会は例年行っている講演会・懇親会は行わず、総会のみ久しぶりの開催でした。田村泰彦八幡平市副市長を始め参加して頂いた皆様に感謝申し上げます。

同窓生の皆様には是非お知らせくださいと八幡平市田村副市長から、「スマホに市のLINE登録をして頂くと、広報はちまいたい発行のお知らせが行きます。県外の同窓生の皆様は平高の生徒の活動を見ていただけます。」と紹介がありました。同窓生の皆様にはLINE登録して母校やふるさとの様子を是非見てください。

総会は、議長に遠藤久夫氏（普17回生）を選出、議事は第1号議案令和3年度事業報告並びに決算承認、第2号議案令和4年度事業計画（案）並びに予算（案）、第3号議案令和4・5年度役員改選について審議され、原案のとおり承認されました。

質疑では、国際交流事業はコロナ禍でどうなっているか、同窓会費を郵便局で払う場合に今まで無かった払込人の払込手数料110円が掛かるがどう考えるか、納めている同窓会費は90万円だが振込手数料が9万円も掛かるのは気になるなど、質問が出されました。同窓会予算は厳しい状況です。同窓会の事業実施や特に母校支援のためにも同窓会費の納入を是非お願いしたいと思います。皆様よろしく申し上げます。

なお、総会終了後、2022平高ポスターの市内各所への掲示について同窓会役員の皆様にご協力をお願いしました。

収入の部	項目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
総 越 金		148,748	148,748	0	繰越金
	予 納 金	537,000	541,550	4,550	予納金350円×1,433件 入金金1,000円×40件
会 費		920,000	806,368	△ 113,632	本会費(1000円)2,000円(450円)100件 手前会費(800円)63,632円 手前会費(1000円)1,000円×40件 手前会費(2,000円)1,000円×20件 手前会費(400円)1,000円×40件 手前会費(500円)1,000円×40件 手前会費(1000円)1,000円×40件 手前会費(1500円)1,000円×40件 手前会費(2000円)1,000円×40件
	国際交流費	213,000	214,950	1,950	別添帳(予納金1500円×1,433件)
借 入 金	1,000,000	1,000,000	0	積立金計から繰入	
繰 取 入		252	212,903	212,651	貸付金222,900円、貯金利息351円
合 計		2,819,000	2,924,519	105,519	
支出の部 (単位:円)					
会 議 費		40,000	6,293	△ 33,707	常任理事会・市長とのフリートーク時期
	庶 務 費	20,000	10,486	△ 9,514	長3月号・角形2号封筒、カラーコピー代
印 刷 費	10,000	0	△ 10,000	電話料、郵送料(切手業務等)	
通 信 費	80,000	78,792	△ 1,208	新報等広告料	
渉 外 費	250,000	64,652	△ 185,348	教職員等送迎者への贈呈品代	
慶 弔 費	20,000	14,130	△ 5,870	クラブ奨励金(3団体、2個人)	
レク大会費	20,000	0	△ 20,000	別添帳(教育振興会会計予納金1500円×1,433件)	
国際交流費	213,000	214,950	1,950	卒業証書ホルダー(A4用紙並行40冊)	
卒 業 記 念 品	20,000	19,380	△ 620	会報費(2021通算19号印刷代、印刷代送料代)	
会 報 発 行 費	810,000	944,094	134,094	積立金計へ繰出	
繰 出 金	1,000,000	1,000,000	0	積立金計へ繰出	
雑 費	15,000	15,900	900	図書、様式野球試合、同窓会用卒業アルバム購入代	
予 備 費	151,000	0	△ 151,000		
合 計		2,819,000	2,550,677	△ 268,323	
次年度繰越金			373,842円		

収入の部	項目	予算額(a)	前年度予算額(b)	比較(a-b)	摘 要
総 越 金		373,842	148,748	225,094	
	予 納 金	579,500	537,000	42,500	予納金 350円×151人×100円 入金金 1,000円×51人分
会 費		810,000	920,000	△ 110,000	年会費(2,000円×450人) (振込手数料90,000円)
	国際交流費	226,500	213,000	13,500	国際交流費150円×151人×100円
借 入 金	1,000,000	1,000,000	0	積立金計より繰入	
繰 取 入		158	252	△ 94	利息金計
合 計		2,990,000	2,819,000	171,000	
支出の部 (単位:円)					
会 議 費		40,000	40,000	0	総会、役員会等
	庶 務 費	20,000	20,000	0	印刷代等
印 刷 費	10,000	10,000	0	封筒印刷等	
通 信 費	80,000	80,000	0	電話、切手等	
渉 外 費	250,000	250,000	0	新聞広告料等	
慶 弔 費	20,000	20,000	0	祝電等	
レク大会費	20,000	20,000	0	レク大会費用	
クラブ奨励費	200,000	170,000	30,000	クラブ奨励金	
国際交流費	226,500	213,000	13,500	教育振興会へ	
卒 業 記 念 品	21,000	20,000	1,000	卒業証書ホルダー	
会 報 発 行 費	810,000	810,000	0	印刷代、送料等	
繰 出 金	1,000,000	1,000,000	0	積立金計へ繰り戻し	
雑 費	145,000	15,000	130,000	図書、様式野球試合、同窓会用卒業アルバム購入代	
予 備 費	147,500	151,000	△ 3,500		
合 計		2,990,000	2,819,000	171,000	

予算に過不足が生じた場合、項目間の流用を認めるものとする。

役 職 名	氏 名	備考(回生)
会 長	高 橋 時 夫	(普17回生)
副会長	山 村 辰 哉	(普18回生)
副会長	工 藤 靖 美	(普24回生)
常任理事	支 部 長 三 浦 浩	(普24回生)
(田山支部)	副支部長 八 幡 博	(普18回生)
常任理事	支 部 長 村 上 伸 男	(普25回生)
(安代支部)	副支部長 伊 藤 義 幸	(普25回生)
常任理事	支 部 長 吉 田 進	(普19回生)
(松尾支部)	副支部長 伊 藤 盛 一	(普18回生)
常任理事	支 部 長 田 中 耕 一	(普30回生)
(平館支部)	副支部長 村 木 洋 志	(普37回生)
	副支部長 村 上 八 千 代	(家13回生)
常任理事	支 部 長 小 野 寺 昭 一	(普17回生)
(寺田支部)	副支部長 小 野 寺 組 夫	(普20回生)
常任理事	支 部 長 工 藤 多 弘	(普28回生)
(大更支部)	副支部長 工 藤 孝 崇	(普23回生)
常任理事	支 部 長 高 橋 正	(普29回生)
(田頭支部)	副支部長 伊 藤 司	(普32回生)
常任理事	支 部 長 松 村 勉	(普21回生)
(盛岡支部)	副支部長 高 村 啓 二	(普17回生)
	副支部長 細 田 キミエ	(普25回生)
常任理事	支 部 長 高 橋 和 一	(普16回生)
(東京支部)	副支部長 白 川 博 幸	(普16回生)
	副支部長 浜 尾 久 美子	(家12回生)
	副支部長 藤 口 次 雄	(普16回生)
監 事	澤 田 隆 一	(普4回生)
監 事	工 藤 昭 二	(普19回生)

★令和4年度平館高等学校同窓会第1回常任理事会報告

令和4年度同窓会第1回常任理事会は6月24日（金）、八幡平市西根地区市民センターで開かれ、役員等22名が出席。今年度の総会に提案する令和3年度事業報告並びに決算承認、令和4年度事業計画（案）並びに予算（案）、2年に一度の役員改選に係る役員推薦について審議されました。

新型コロナウイルス感染によるコロナ禍で事業が自粛されて3年目、今年度の総会開催が可能かも検討された。感染予防対策をしっかりして開催することとなりました。

また、会議では地域の人材を育成していく八幡平市唯一の高校としての母校は少子化等により厳しい状況です。学校、同窓会、地域が共に地域の人材を育成していくことであるとの意見や、同窓会費の収入減に対し昨年度同窓会財務委員会が検討し、成果はある程度あったが1年して元に戻った。若い世代が同窓会費を納めていないなどの原因に対して、対策に努め、方法を行うべきとの指摘がありました。

このことは以前からの課題でした。同窓会として検討、実行に努めますので、同窓生の皆様のご支援をよろしく申し上げます。

★令和4年度平館高等学校同窓会第2回常任理事会報告

令和4年度同窓会第2回常任理事会は9月8日（木）、八幡平市西根地区市民センターで開かれ、役員等22名が出席。今年度後半の事業について協議し、総会から現在までの報告等を確認しました。

協議事項は、10月8日（土）に2種目を実施する同窓会レクリエーション・令和5年1月下旬開催予定の新年会。9月16日（金）開催予定の八幡平市長とのフリートーク・今年度の同窓会会報の発行・平成元年にカナダエスクワモルト高校との姉妹校締結記念樹の剪定についてです。

報告事項は、平館高等学校の近況・図書室図書購入助成・紫薫祭同窓会展示の中止・紫根染とムラサキ草プロジェクトへの協力についてでした。

★令和4年度平館高等学校同窓会第3回常任理事会報告

令和4年度同窓会第3回常任理事会は11月7日（月）、平館コミュニティセンター会議室で役員等21名が出席し開催されました。主な協議事項は「令和5年度八幡平市予算編成にあたっての岩手県立高等学校振興に関する要望書」についてです。9月に開催した市長とのフリートークで様々な意見が出されたので、それらの内容をまとめた要望書を協議しました。その他、新年会開催（案）、同窓会費についてを協議しました。

★東京支部からの便り（近況報告）



●2022年度東京支部便り「会員の声」

コロナ禍の中の東京支部は、東京を会場とする7月開催予定の総会を今年度も書面総会にせざるを得ませんでした。そこで、7月に書面総会を実施しました折に3年間会えなかった会員の皆様の近況を情報交換することにより少しでも会員のつながりを持てる様に返信ハガキに自由に書いてもらいました。それを「会員の声」としてまとめ、会員の皆様に郵送しました。その一部をご紹介します。

「会員の声」

駒ヶ嶺泰秀（普通科8回生）昭和33年卒

私の近況 ①5月で満84才になりました。②4週間ごとにクリニックに血圧の薬を貰いに通っています。③趣味を楽しんでいます。(ア) グランドゴルフ週3回。(イ) 毎日新聞短歌会に月1回、八王子に出掛けます。(ウ) 囲碁の会に土曜日に参加しています。(エ) 電子書籍(アマゾン社)から「妻が末期ガンになったら…」を出版社から勧められて出版いたしました。家内の人形の写真集と私の歌集も収めました。皆さん暑い夏を元気で乗り越えましょう。

宮川妙子（普通科18回生）昭和43年卒

ふる里の岩手ともコロナ禍で疎遠になり、悲しい限りです。当初、岩手県は、ゼロコロナで親戚からも実母の葬儀に参列を断われ、最後のお別れもできませんでした。今も3年間帰省できず、とても残念です。

平野正人（普通科24回生）昭和49年卒

コロナ禍の中、仕事の声優業(アニメ・ワンピース・忍たま乱太郎等)を続けながら大阪芸術大学放送学科の授業もしています。対面とリモートの繰り返しです。朗読活動はこの3年間は自粛していますので寂しい日々です。八幡平市にももう3年間も帰省しておりません。が好転を期待しつつ頑張っています。

三浦明美（普通科27回生）昭和52年卒

3年前に大腸癌ステージivで余命半年と告げられましたが、3年になりました。毎月抗癌剤点滴をしながら内服も続け仕事ができるようになり週の半分と5時間の勤務をして1年過ぎました。ただ、一気に筋力が低下になり、それを復活するにはリハビリしながらですが色々な所の関節痛、筋肉痛で20年位月日が経っている身体の動きです。(笑)皆様もお身体をご自愛ください。

黒木喜代子（普通科16回生）昭和41年卒

12月5日に我孫子市の公園清掃の後、緑石を踏み外し左足骨折、ギプスもようやく取れたと思ったら、今度は腎臓の数値が悪くなり入院。私にとって今年は、試練の年になりました。みな様も気を付けてお過ごしください。

※他の多くの皆様は、「一日も早くコロナ禍が終息して、また皆様とお会いする日を楽しみにしております。それまでは体を大切に頑張りましょう」という言葉が見られました。来年こそ、実現しましょう。(東京支部長 高橋 和一 普通科16回生) 黒木喜代子氏



駒ヶ嶺泰秀氏



宮川妙子氏



平野正人氏



三浦明美氏



黒木喜代子氏

★盛岡支部からの便り（「開拓者精神」への思い）



社会人になって「座右の銘」を欲しいと思いましたが、探しても、考えてもダメでした。高校生の時は、人前に入るのが、苦手でした。社会に出てからは、「開拓者精神」の言葉が頭をよぎるようになり、前向きなスタンスでいるんな事に取り組んできたように思っています。

何か「新しい事をやる」ということは、失敗もあるし、恥をかくこともあり、2度としたくないという気持ちになります。

ある時3つの「かく」を大事にしているという新聞の読者投稿を見ました。①字をかく、②汗をかく、

③恥をかくという事です。なんか「開拓者精神」に通じるものがあると勝手に思いながら、大事にしてきました。それからは、迷った時などは、「恥をかく」ことから逃げようとしていないか、と自問しながら行動したこともあります。

今も積極的に動いているわけでもないが、消極的な側面の自分が薄くなったように思います。その変化を作ってくれた要因の一つに「開拓者精神」もあったように思い、感謝しています。(盛岡支部事務局長 安保 進 普通科21回生)

★同窓会レクリエーション

●3年ぶりに同窓会レクリエーションを開催

10月8日(土)、いこいの村岩手でのグラウンド・ゴルフと姫神山登山の2種目を実施しました。グラウンド・ゴルフの成績は、1位は山村辰哉(大更支部)、2位は工藤多弘(大更支部)、3位は小野寺昭一(寺田支部)(※敬称略)という結果でした。

◆姫神山登山に参加して

山の日が制定されてから登山ブームが起こっており、私も登山がしてみたいと思ってはいたが、危険が伴うスポーツであるし、自分の体力も心配でありこれまで二の足を踏んでいたが、今回は初心者でも安心なコースを登るから大丈夫だとアドバイスを受け参加を決意しました。

ところが、あいにくの天気で色々心配していた事がさらに拡大し、小雨と霧を疎ましく思った。しかし、平館高校山岳部の黄金時代を支え、今でも現役として山岳協会で活躍している錚々たる面々がガイドしてくれ初心者の私に併せたペース配分や山野草などを説明してもらいながら安全に楽しく、登山を楽しませてもらい、山頂からの絶景は見れなかったが苦労の次にある達成感を満喫できました。

帰宅して山頂で撮影したスマホの画面を見ながら、もう一度楽しませてもらいました。

次回の企画を心待ちにしています。 田村 栄造(普通科25回生)

◆グラウンド・ゴルフに参加して

今年度より安代支部の役員を引き受ける事となり、同窓会レクの案内を頂きました。ゴルフやパークゴルフはプレーした事があったので簡単だと思っていましたが、ホールボットの所まで行くも通過。当日、朝方まで雨が降ったので、水たまりにハマリ苦戦。脱出するまでが大変だったり、思った以上に難しいと感じました。

私は安代で民宿とリンドウ栽培をやっていますが、毎日毎日仕事に追われる日々を送っていましたので、皆さんとワイワイ、ガヤガヤとプレーが出来、楽しませて頂き、リフレッシュさせて頂きました。

今まで、同窓会でレクをやっていることを知りませんでしたが、今後も続けて欲しいと思っています。今回参加して、良い、デビューが出来ました。 薄衣 ハル子(家政科12回生)



達成感120パーセント!



コースを回る前には、はい、ポーズ!>

★同窓生・クラブOB便り

●文部科学省生涯スポーツ功労賞を受賞して

佐藤 正雄(前岩手県相撲連盟会長・普通科16回生)

私は永年、国技相撲競技を通していろいろなことを学ばせて頂きました。その基礎が平館高等学校部活動の経験が生かされ、日本体育大学で力学的に学びました。水沢農業高、平館高、盛岡農業高に勤務しながら日本相撲連盟では国際相撲連盟教育委員の役職を命ぜられ相撲を世界に普及させるために海外への派遣を命ぜられました。最初はハワイで日米高校相撲選手権大会の主審で参加。米国はラグビー、柔道、ウェイトリフティング等の選手が出場。日本はわざと大相撲、舞の海のような小柄な選手が出場させ、大きな米国選手を投げナイスジャパニーズと大喝采と盛り上がった。次の交流先、韓国相撲シルムと2回交流。岩手県に2回来日。日本の相撲との共通点は円形の土俵の中で裸にまわし。韓国相撲シルムはトランクスの上に帯(サッパー)をつけて争う競技。シルムは最初から相手の帯を取って組み、投げ技で争う。相撲は70手に対してシルムは40手。投げ技が主体のため引きつけが強く、投げが非常に強烈だった。店頭のカムチは大変美味しかったが各家庭で作ったカムチの味がそれぞれの家庭の味で大変美味しかった。日本では食べられない味でした。韓国が来日された際、大量のカムチをお土産に持って来られ美味しく戴いた。その次の交流はブラジル全土の相撲選手権大会に平館高校が招待された。私は国際相撲連盟の派遣で大会前に

●令和4年秋の褒章、黄綬褒章を受章



八幡富士男さん(普通科17回生)は写真館の代表です。そして、生涯現役で頑張られています。その八幡さんが長年その道一筋に打ち込んで来られた方に贈られる黄綬褒章を受章されました。本当におめでとうございます。今後も素敵な写真を撮り続けていただきたいと思います。

●体操部の経験が人生の糧に



私の似顔絵です

高橋 正(普通科29回生) 体操部に入った理由は、楽しそうだったのと親友と一緒に入ることからでした。

いざクラブ活動に出てマット運動をしたら、簡単に見えた跳び前転や後転倒立が不格好で、なさけない有様でした。

体操部は高い身体能力が必要なスポーツだということを実感し、思い知らされました。

基本の筋力トレーニングの腕立伏せ、腹筋等を2年生の先

●平館高校の発展を願って



松尾 竜也(普通科45回生) 私は平成4年に平館高校へ入学しました。高校時代を振り返ると、応援歌練習や生徒会活動、卓球部の部活動、姉妹校であるカナダのエスクワモルト高校への派遣事業、体育祭や京都・奈良に行った修学旅行、チーム一丸となった百人一首のカルタ大会など、さまざまな思い出が浮かんできます。

高校卒業後は、県立宮古短期大学を経て、松尾村役場に採

審判講習会の講師として招聘された。最後に日本の青森県で開催される世界相撲選手権大会に是非、ブラジルを参加させて欲しいとお願いをした。青森県弘前市で開催され、韓国、ブラジルの選手が出場。ブラジルの応援団が18名、韓国も9名の応援団が来日。交流して成果を挙げた。その後、第2回輪が広がる国際交流、「第2回アメリカジャパニウィーク」に平高相撲部出身、明治大学卒、岩手県スポーツ振興事業団職員、故熊谷文彦氏(旧姓:和野 普通科30回生)と参加。相撲の技等を披露し絶大な拍手と驚異な声を発していた。韓国2回、ブラジル2回、アメリカ2回の派遣を果たした。現在、国際相撲連盟に加盟している国は78カ国。いずれはオリンピック種目に認定される日が近い。相撲競技が国際的に発展し益々盛んになるよう期待してやまない。



ブラジルでの記念式典に出席

●受章者から

昨年の厚生労働省の「現代の名工」受賞に続いて、今年度、黄綬褒章をいただき、大変嬉しく光栄に思っております。

写真は未来の宝物との思いで、お客様の写真撮影に行ってきました。

写真はシンプル、品よく、温かみのある写真を心がけており、その写真が認められたと思います。

これも、常日頃、皆様の支えがあっての事と思っております。

今後とも期待に副えるように心を込めて撮影して行きたいと思っております。(八光スタジオ 八幡 富士男)

輩の掛け声により、限界までやり、家に帰ってから夕飯を食べる箸を持つ手が震えていました。

夏休みには合宿があり、あん馬を持つ手の皮がむけ、血を出しながら練習したことや、跳馬に勢いよく走っていき、胸を強く打ちつけたことなどを思い出します。

3年生になり、県営体育館で行われた県大会に出ました。

屋内の眩しい照明の中で、下手でしたが床運動をはじめ各種目で演技をし、終えた時には部員の仲間と肩を抱き合い、充実感を味わったのを今でも鮮明に覚えています。

3年間の体操部の経験で、継続・挑戦・仲間(3年部員6名)の大切さを知ることができ、今までの人生の糧となっています。

用となり、平成28年からは広報はちまんたい制作の部署に4年間、所属しました。平館高校は話題が豊富で、何度も訪問しました。家庭クラブの文部科学大臣賞受賞や平館青商会と協同で制作したイルミネーション点灯、市内各地の敬老会での紫薫枕贈呈などを取材しました。頑張っている生徒たちや先生方から話を伺うことは、私の楽しみにもなっていました。

取材を通して感じたのは、生徒数減少の困難な時期にあっても、生徒自身で考え、母校の魅力を発信し続けていることです。私も同窓生の一人として、平館高校が存続、発展していくように、微力ながら支援していきたいと思っています。

★令和4年度平高生の活躍の記録・部活動等の記録【10月末までの記録】

最新情報が平館高校のホームページにあります。http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/index.html をご覧ください。

【全国大会】

- ◎相撲部
 - インターハイ（7月）高知県高知市
 - 団体 ベスト16
 - 個人 ベスト32 工藤佳太
 - 優秀32選手決定トーナメント 2回戦敗退
 - 工藤見太、伊藤 憂
 - 個人体重別戦 80kg級 ベスト16 伊藤 憂
 - 個人体重別戦 100kg級 ベスト32 工藤佳太
 - 国体（10月）栃木県大田原市
 - 団体 予選敗退
 - 個人 出場なし
- ◎家庭クラブ
 - 第70回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会（7月）山形県
 - 学校家庭クラブの部
 - 「My Bag in Your Pocket」
 - 発表者：工藤永美華
 - 補助：熊谷百花、櫻結槻、佐々木真名
 - 全国高等学校長協会家庭部会賞
 - 全国高等学校家庭クラブ連盟賞



全国大会で堂々と発表した家庭クラブの皆さんです

【県大会】

- ◎相撲部
 - 高総体（5月）
 - 団体 優勝（9連覇）
 - 個人選手権 第1位 工藤見太
 - 第2位 伊藤 憂
 - 第3位 伊藤 憂
 - 個人体重別
 - 80kg級 第1位 伊藤 憂
 - 100kg級 第2位 工藤佳太
 - 個人体重別 100kg以上級
 - 第1位 工藤見太
 - 第2位 工藤煌斗
 - 第3位 伊藤光希
- 新人戦（9月）
 - 団体 優勝（3連覇）
 - 個人選手権 第1位 伊藤光希
 - 第2位 工藤佳太
 - 第3位 田村昂大
 - 個人体重別 100kg級 第1位 工藤佳太
 - 個人体重別 100kg以上級 第1位 田村昂大
 - 第3位 伊藤光希

◎野球部

- 第69回春季東北地区高等学校野球岩手県大会地区予選
 - 1回戦 本校 0-7 盛岡第一
 - 敗者復活戦 本校 0-8 盛岡商業
- 第104回全国高等学校野球選手権岩手大会
 - 1回戦 本校 5-6 宮古商工（延長10回サヨナラ）
- 第75回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会地区予選
 - 1回戦 本校 2-3 盛岡中央
 - 敗者復活戦 本校 5-4 岩手
 - 敗者復活2回戦 本校 0-7 盛岡第一

◎山岳部

- 高総体（5月）大松倉山
 - 男子団体 5位（11チーム中）
- 新人戦（10月）鶏頭山
 - 男子団体 8位（10チーム中）



鶏頭山頂めざして。快晴です。

◎陸上競技部

- 高総体（5月）北上市
 - 1部男子800M 小野寺瑠生 出場
 - 1・2男子 砲丸投 畠山陸翔 柴崎光祈 出場
 - 1・2男子 円盤投 工藤高紀 21位
 - 1部男子やり投 伊藤 俊 菊池修平 出場
- 新人戦（9月）盛岡市
 - 男子砲丸投 畠山陸翔 14位
 - 柴崎光祈 8m86cm 15位
- 岩手県高校駅伝（10月）
 - オープン参加 第4走者 小林由奈 区間8位
 - 総合順位11位

◎ソフトテニス部（男子）

- 高総体（5月）北上市
 - 団体 1回戦 本校 1-2 専大北上
- 新人戦（10月）北上市
 - 団体 1回戦 本校 2-1 盛岡農業
 - 2回戦 本校 0-3 一関学院

◎ソフトテニス部（女子）

- 高総体（5月）北上市
 - 団体 1回戦 本校 0-3 宮古
 - 個人 1回戦 小澤・畠山ペア 1-4 高田
 - 田村・藤田ペア 1-4 釜石
- 新人戦（10月）北上市
 - 団体 1回戦 本校 1-2 花巻南

◎バスケットボール部（男子）

- 高総体（5月）北上市
 - 1回戦 本校 29-117 釜石商工
- 第43回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会盛岡地区予選（9月）
 - 1回戦 本校 13-116 盛岡第三
- 新人戦盛岡地区予選（11月）盛岡市
 - 1回戦 本校 27-114 盛岡附属
 - 敗者復活戦 本校 14-139 盛岡農業
- ※バスケットボール部（女子） 出場なし

◎卓球部（男子）

- 高総体（5月）宮古市
 - 団体 1回戦 本校 0-3 水沢
- 新人戦 地区大会（9月）盛岡市
 - 団体 1回戦 本校 1-3 盛岡商業
 - 敗者復活戦 本校 1-3 盛岡工業
 - ダブルス 松尾・八幡 三回戦進出
 - 大澤・日守 三回戦進出
 - 佐々木・齋藤 三回戦進出
 - シングルス 松尾大輝 二回戦進出
 - 大澤英朗 三回戦進出
 - 八幡祐哉 四回戦進出
 - 佐々木斗磨 二回戦進出
 - 齋藤暖天 出場

◎卓球部（女子）

- 高総体（5月）宮古市
 - 団体 1回戦 本校 0-3 一戸
- 新人戦 地区大会（9月）盛岡市
 - 団体 1回戦 本校 0-3 盛岡第一
 - 敗者復活戦 本校 0-3 盛岡附属
 - ダブルス 伊藤・遠藤 二回戦進出
 - シングルス 伊藤美咲 出場
 - 遠藤手菜綺 出場

◎吹奏楽部

- 全日本アンサンブルコンテスト盛岡地区大会（令和3年12月）
 - 高等学校の部 管打8重奏 銅賞
- 第60回岩手県吹奏楽コンクール盛岡地区大会（令和4年7月）
 - 高等学校小編成の部 銅賞

◎囲碁将棋部

- 第44回岩手県高等学校将棋大会（5月）
 - 男子団体 3チーム 出場
 - 男子個人 10名 出場
 - 女子団体 1チーム 出場
- 第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会岩手県大会（5月）
 - 団体 3チーム 出場
 - 男子個人 8名 出場
- 第31回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会（10月）
 - 男子団体 7名 7位入賞
 - 男子個人 1名 出場
- 第41回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会（10月）
 - 男子団体 2チーム 出場
 - 男子個人 7名 出場
 - 女子個人 1名 出場

◎家庭クラブ

- 第72回岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会（10月）
 - 学校家庭クラブの部 県大会出場
 - 未来につなぐムラサキ〜ムラサキと人をつなぐ〜
 - 最優秀賞（12月に開催される東北ブロック大会に9年連続出場決定）

◎美術部

- 第44回岩手県高等学校総合文化祭美術・工芸展出品（令和3年11月）
 - 絵画部門 入選
 - 「森林」 工藤美沙樹（2年）
 - 「金魚」 古館里菜（2年）
 - 「暗幕」 山口侑愛（2年）
 - 「美」 角館 咲（1年）
 - 「脳」 阿部七海（1年）
 - 「カメ」 工藤美沙樹（2年）
 - 立体部門 入選
 - 青少年赤十字100周年記念 岩手県ポスターコンクール出品（令和3年11月）
 - 高等学校の部 入選 田鎖祐那（3年）
 - ひょうたん池誘致に関する活動（令和4年5月）
 - 1学年 看板設置 2学年 消しゴムハンコ制作
 - 3学年 オリジナルキャラクター制作
 - 令和4年度明るい選挙ポスター 出展（令和4年9月）
 - 八幡平市最優秀賞 阿部七海（2年）
 - 八幡平市優秀賞 高橋 心（1年）
 - 八幡平市佳作 小館愛佳（1年）
 - 令和5年度国土緑化運動・育樹運動ポスター原画岩手県コンクール出品（令和4年9月）
 - 角館 咲（2年）
 - 平館コミセン芸術祭 出品（令和4年10月）
 - 八幡平市芸術祭 出品（令和4年10月）
- ◎その他
 - 書道選択 岩手県高等学校総合文化祭書道部門（10月）
 - 第45回岩手県高等学校総合文化祭書道部門（半切）入選
 - 逸藤 一花
 - 漢字・仮名部門 佐々木美葉音
 - 藤原 蓮
 - 佐々木莉良

◎その他

- 書道選択 岩手県高等学校総合文化祭書道部門（10月）
- 第45回岩手県高等学校総合文化祭書道部門（半切）入選
 - 逸藤 一花
 - 漢字・仮名部門 佐々木美葉音
 - 藤原 蓮
 - 佐々木莉良

◎その他



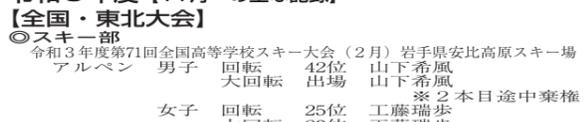
スローガンは全員野球！

◎その他



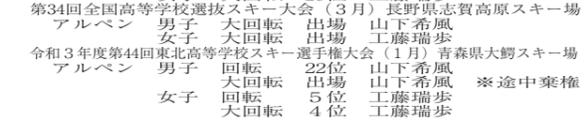
相撲部、高総体優勝！9連覇！

◎その他



陸上部

◎その他



◎その他

- 令和3年度【11月〜の主な記録】
- 【全国・東北大会】
- ◎スキー部
 - 令和3年度第71回全国高等学校スキー大会（2月）岩手県安比高原スキー場
 - アルペン 男子 回転 42位 山下希風
 - 大回転 出場 山下希風
 - 女子 回転 25位 工藤瑞歩
 - 大回転 23位 工藤瑞歩
 - 第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会（2月）秋田県花輪スキー場
 - アルペン 男子 大回転 38位 山下希風
 - 女子 大回転 29位 工藤瑞歩
 - 第34回全国高等学校選抜スキー大会（3月）長野県志賀高原スキー場
 - アルペン 男子 大回転 出場 山下希風
 - 女子 大回転 出場 工藤瑞歩
 - 令和3年度第44回東北高等学校スキー選手権大会（1月）青森県大鰐スキー場
 - アルペン 男子 回転 22位 山下希風
 - 大回転 出場 山下希風 ※途中棄権
 - 女子 回転 5位 工藤瑞歩
 - 大回転 4位 工藤瑞歩
- ◎スキー部
 - 第71回岩手県高等学校スキー大会（1月）安比高原スキー場
 - アルペン 男子 回転 5位 山下希風
 - 大回転 3位 山下希風
 - 女子 回転 1位 工藤瑞歩
 - 大回転 1位 工藤瑞歩
 - 令和3年度スキー競技 国体選手選考会（1月）
 - アルペン 男子 大回転 4位 山下希風
 - 女子 大回転 2位 工藤瑞歩
 - 第62回岩手県スキー選手権大会アルペンスキー競技大会（1月）岩手高原スキー場
 - アルペン 男子 回転 5位 山下希風
 - 大回転 3位 山下希風
 - 女子 回転 2位 工藤瑞歩
 - 大回転 1位 工藤瑞歩

★家庭クラブ活動報告

家庭クラブ5年連続で全国大会へ出場 「My Bag in Your Pocket」

平館高校家庭クラブは、令和4年7月28日・29日の2日間、山形市で開催された第70回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会（山形大会）学校家庭クラブ活動の部に出場しました。本校家庭クラブは東北ブロック代表として5年連続の出場を果たしました。

＜発表要旨＞

発表テーマは「My Bag in Your Pocket」。前年度に先輩たちが開発した本校オリジナルマイバッグの良い点を生かし、普段の生活の中で洋服やバッグ、ランドセルなどのポケットに入れて手軽に持ち歩けるマイバッグを製作したいと考え、「持ち歩こうマイバッグ」を開発した。余り布を活用し、改善を重ねながら完成させることができた。マイバッグ利用の具体的なアクションとして製作過程に関わってもらう「My Bagチャレンジ」を企画し、100名を超える多くの方々にも参加していただいた。また、これまでの活動についてまとめた家庭クラブ通信やマイバッグの作り方を動画で作成し、学校ホームページから発信している。今後もプラスチックごみ削減への意識を持続させ、より多くの人に「持ち歩こうマイバッグ」を届けるため活動を続けていきたい。

大会に出場した生徒の感想

3年ぶりの現地開催、沢山の方々の思いや努力の詰まった山形県大会に参加できたことを嬉しく思います。発表者としてのプレッシャーはありましたが、最後まで練習を重ね、悔いのない発表が出来たことを誇りに思います。暖かい応援をありがとうございました。（3年 工藤永美華）



活動に参加してくださった方々など、沢山の人の支えられていることを実感出来ました。良い結果を残すことはできなかったけれど自分たちの活動に自信を持ち、本番を迎えることが出来ました。（3年 熊谷百花）

マイバッグの研究活動を通し、地域の方や先生方、全校生徒の皆さんの協力や応援があったからこそ全国大会に出場することが出来ました。大会まで必死になって練習を重ね、大会当日は練習してきた成果を発揮することが出来ました。家庭クラブ役員として全国大会に出場出来たことはとても貴重な体験となりました。応援ありがとうございました。（3年 櫻 結槻）

発表は落ち着いた感じで良かったです。全国大会に出場して、たくさんの方の発表を見ていてどれも工夫があつていい発表だと思いました。全国大会に出場できてとても貴重な体験がすることができました。（3年 佐々木真名）

主に活動を進めた3年生家庭クラブ役員にインタビュー

★研究を進める中で「最も大変だったこと、苦労したこと」

少ない役員で協力し、100枚近いマイバッグを完成させたことです。時間的にも厳しい部分がありましたが、マイバッグを手にとった小学生から「嬉しい」という声を聞くことが出来て、とてもやりがいがありました。

★研究に関連して「今後にかける思い」

先輩達から引き継ぎ改良を加え完成した「持ち歩こうMy Bag」をもっと多くの人にお届けできるよう活動を継続していきたいです。後輩達には地域と深く関わりが持てるという平高の強みを活かして積極的に活動を行い、発表に繋げていって欲しいと思います。



全国大会が開催された山形市の会場「山形テルサ」にて。

★平館高等学校図書室リニューアル協働作業

令和4年3月29日（火）、学校から6名、同窓会から9名の参加で3階図書室のリニューアル作業をしました。

図書館リニューアル整備計画は、計画の趣旨「どの生徒も本が好きである。どの生徒にも知的好奇心がある。読解力を育むことが心の成長と学力向上に直結する。教科横断型「総合的な探求の時間」やその他の探求活動、通常の授業に活用できる。」に基づき、陽光が差し込み、清潔感のある、センスある明るい空間にし、生徒がリラックスして利用できる図書館となるよう、配架を工夫していく予定です。

図書館リニューアルに向け、今回は、書架配置作業、本の整理などの作業をお手伝いしました。



協働作業、お疲れ様でした。

★同窓会から野球部へ試合球を贈呈

令和4年6月16日（木）、同窓会から野球部へ硬式野球試合球を贈呈しました。夏の甲子園出場を目指し、部員18名の我が平館高等学校野球部も、チーム一丸、一生懸命、練習に励んでいました。

この日、野球部の藤原蓮キャプテンに、顧問の先生が見守る中、野球部の先輩でもある同窓会の田村栄造事務局長から硬式野球ボールが手渡され、藤原キャプテンが「ありがとうございます。部員一同全力で頑張ります。」と力強い決意がのべられました。

